

新学習指導要領に準拠した商業経済検定試験について

令和3年10月1日 商業経済研究部
(商業経済検定ニュース第34号より抜粋)

1. 新学習指導要領科目への以降イメージと検定実施科目

現行検定試験科目	移行イメージ	新学習指導要領科目	分野	検定科目
ビジネス基礎		ビジネス基礎		○
マーケティング		マーケティング	マーケティング分野	○
		商品開発と流通		○
		観光ビジネス		
経済活動と法		ビジネス・マネジメント	マネジメント分野	○
ビジネス経済A (ビジネス経済)		グローバル経済		
ビジネス経済B (ビジネス経済応用)		ビジネス法規		○

※ 「グローバル経済」並びに「観光ビジネス」に関わる科目の試験については、継続的に検討を行う。

※ 検定科目は課題検討委員会答申による

2 移行状況と段階的实施表

(1) 移行状況

【令和4年度】 新科目「ビジネス基礎」実施 旧科目「ビジネス基礎」終了

【令和5年度】 新科目「ビジネス・マネジメント」「マーケティング」実施
旧科目「マーケティング」終了 (令和5年度のみ6科目実施)

【令和6年度】 新科目「商品開発と流通」「ビジネス法規」実施
旧科目「経済活動と法」「ビジネス経済A」「ビジネス経済B」終了

※ 令和5年度以降の1・2級の試験順序に関しては、科目の履修状況や受験者数の見込みを踏まえ検討中。

(2) 段階实施表

	科目の切り替え					
令和4年度 第37回検定 (R5.2月実施)	新ビジネス基礎	旧マーケティング		経済活動と法	ビジネス経済A	ビジネス経済B
令和5年度 第38回検定 (R6.2月実施)	新ビジネス基礎	新マーケティング		経済活動と法	ビジネス経済A	ビジネス経済B ビジネス・マネジメント
令和6年度 第39回検定 (R7.2月実施)	新ビジネス基礎	新マーケティング	商品開発と流通	ビジネス法規		ビジネス・マネジメント

3 全科目合格者表彰の段階的实施について

高校在学中に5科目全てに合格した方には、全科目合格者表彰をします。申請は、卒業年度にできます。

なお、実施科目の移行に伴い、令和4年度～令和8年度については、卒業年度において、下記の①～⑥に分類された科目のなかからそれぞれ5科目以上に合格した者を全科目合格者と認定し、表彰します。

	①	②	③	④	⑤	⑥
令和4年度 卒業時申請	旧ビジ基 または新ビジ基	旧マーケ	経法	ビジ経A	ビジ経B	
令和5年度 卒業時申請	旧ビジ基 または新ビジ基	旧マーケ または新マーケ	経法	ビジ経A	ビジ経B またはビジ・マネ	
令和6年度 卒業時申請	新ビジ基	旧マーケ または新マーケ	経法 またはビジ法	ビジ経A	ビジ経B またはビジ・マネ	商品・流通
令和7年度 卒業時申請	新ビジ基	新マーケ	経法 またはビジ法	ビジ経A	ビジ経B またはビジ・マネ	商品・流通
令和8年度 卒業時申請	新ビジ基	新マーケ	ビジ法		ビジ・マネ	商品・流通

※新学習指導要領と現行の科目と同じ科目名については、この資料のみ新旧をつけた

4 試験時間について

現行(令和3年度)

ビジネス基礎	9:00～9:40	40分
マーケティング	10:00～11:00	60分
経済活動と法	11:20～12:20	60分
昼食	12:20～13:10	50分
ビジネス経済A	13:10～14:10	60分
ビジネス経済B	14:30～15:30	60分

令和4年度

ビジネス基礎	9:00～9:40	40分
マーケティング	10:00～10:50	50分
経済活動と法	11:10～12:00	50分
昼食	12:00～12:50	50分
ビジネス経済A	12:50～13:40	50分
ビジネス経済B	14:00～14:50	50分

令和5年度

ビジネス基礎	9:00～9:40	40分
1・2級科目①	10:00～10:50	50分
1・2級科目②	11:10～12:00	50分
昼食	12:00～12:50	50分
1・2級科目③	12:50～13:40	50分
1・2級科目④	14:00～14:50	50分
1・2級科目⑤	15:10～16:00	50分

※1 令和4年度から1・2級の試験時間を50分に変更

※2 令和5年度以降の試験順序に関しては、科目の履修状況や受験者数の見込みを踏まえ検討中。
(令和5年度のみ6科目実施)

5 新ビジネス基礎の「科目別・項目別出題基準」について

令和4年度から実施の新ビジネス基礎の「科目別・項目別出題」については、高等学校学習指導要領(平成30年告示)商業編および高等学校教科書目録に掲載された教科書の指導内容を踏まえ、下記のようにいたします。

なお、出題内容が現行基準と変更がないため、サンプル問題の提示はいたしません。

現行(令和3年度)

- | | |
|------------------------------|----------|
| (1) 商業の学習ガイダンス
(出題範囲から除く) | |
| (2) ビジネスとコミュニケーション | 5問 |
| (3) ビジネスと売買取引 | 15問 |
| (4) 経済と流通の基礎 | 20問 |
| (5) 企業活動の基礎 | 10問 |
| | 各2点・計50問 |

令和4年度～

- | | |
|-------------------------------|-----|
| (1) 商業の学習とビジネス
(2)～(5)に含める | |
| (2) ビジネスに対する心構え | 5問 |
| (3) 経済と流通 | 20問 |
| (4) 取引とビジネス計算 | 15問 |
| (5) 企業活動 | 10問 |
| (6) 身近な地域のビジネス
(2)～(5)に含める | |

各2点・計50問

※ 形式別の出題内容は以下の通りとする。

直接解答型20問(4題×5問)、本文参照型30問

※ 直接解答型の出題形式は以下の4種類とする。

- ①関連事項の結合問題
- ②一定条件による細目分類問題
- ③解答群付きの空欄補充問題
- ④下線部の正誤判定・訂正問題

6 商業経済検定試験1級の合格の条件について(令和7年度まで)

商業経済検定試験の1級の条件については、令和4年度からの新科目への移行に伴い、受験生への教育的配慮から、次のように定めます。

※ 1級合格は、前年度までに合格した科目を含め1・2級科目を2科目以上合格した年度時に申請し、認定されます。

※ 次の3科目については、同等の科目と位置づけ、どちらか1科目といたします。

- (1)新・旧「マーケティング」
- (2)「経済活動と法」と「ビジネス法規」
- (3)「ビジネス経済B」と「ビジネス・マネジメント」

7 商業経済検定試験と日本商工会議所主催の「リテールマーケティング(販売士)検定試験」とのリンケージ制度について

新学習指導要領に準拠した商業経済検定試験の新科目とのリンケージ制度については、現時点では未定ですが、リンケージ制度継続のために日本商工会議所と協議を進めております。今後、リンケージ制度が決定次第、改めてご報告いたします。

商業経済検定試験とリテールマーケティング(販売士)検定試験とのリンケージ制度は、平成18年7月から実施されております。リンケージ制度を活用している学校および生徒においては、リテールマーケティング(販売士)検定合格に有利に働いております。なお、現行の規定につきましては、10ページ掲載にしております。